

## テクニカルエリア内について(スタッフ・交代要員用)

2024年度版

東京都高体連サッカー専門部女子審判委員会

### テクニカルエリア内での行動について

0. テクニカルエリア内では常に責任ある行動をとる(メンバー表に記載されている人のみ入ることができます)

#### 1. 注意となる事象

副審や第4の審判員の指示または要求を無視するなど、審判員に協力しない決定に対して軽度の不満を示す

他の反側を行うことなく、時折テクニカルエリアから出る

※繰り返し、または露骨に行うと、警告または退場となる

#### 2. 警告(一部)

明らかに、または繰り返して自分のチームのテクニカルエリアから出る

自分のチームの再開を遅らせる

言動や行動による異議を示す

審判員に対するリスペクトを明らかに欠いた行動をとる(皮肉な拍手など)

過度に、または繰り返し、レッドカードやイエローカードを求める身振りをする

挑発するような、または相手の感情を刺激するような行動をとる

容認できない行為を繰り返し行う

試合にとってリスペクトに欠ける行為を行う

#### 3. 退場

相手チームのプレーの再開を遅らせる

テクニカルエリアを出て

審判員に対して異議を示す、または抗議する

挑発するような、または相手の感情を刺激するような行動をとる

競技のフィールドに入り

審判員と対立する(ハーフタイムと試合終了後を含む)

プレー、相手競技者または審判員を妨害する

すべての人に対し、身体的または攻撃的な行動をとる

攻撃的な、侮辱的な、もしくは下品な発言をする、または行動をとる

乱暴な行為を行う

#### 4. その他

相手チーム・競技者はもちろんですが、自チームに対してもプレーを嘲笑したり、容認できない発言があった場合は、状況により懲戒罰、報告の対象になります

リスペクトの精神はサッカーに関わるすべての人へ意識してください

なお、テクニカルエリア内で懲戒罰の対象者が特定出来ない場合は、上位のコーチ

が懲戒罰の対象となります。

#### 5. お願い

審判員は常に正しい判定を心がけようと努力しております。ただし、常に正しい判定が出来ないのも事実です。選手同様にミスする時もありますが、審判チームの判定は受け入れてください。

許容範囲のアピールはサッカーの一部として受け入れられますが、過度なアピールは認められません。また異議は受け入れることはできません。

審判員がより良い判定を下していくために、東京の大会においては、試合後にチーム関係者と審判員が対立したり、不満を示すことなく、お互いのために意見交換をすることは否定しませんが、もし対立したり不満を示すようなことがあった場合は、会場責任者が審判委員会に連絡をするようにしてください。

必ず第三者がいるようにしてください。

あくまでリスペクトを忘れずに、それぞれの見解を尊重し、サッカーがより良いものになるためにご協力ください。

審判員の普及・育成・強化は永続的な課題となっております。

特に高校生が審判員に挑戦する環境を作ることも女子サッカーを発展させていくためにも必要不可欠と認識しております。ぜひとも、高校の指導者の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いたします。